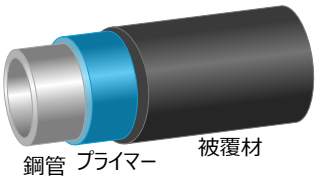
樹脂被覆管の各種規格試験ができます

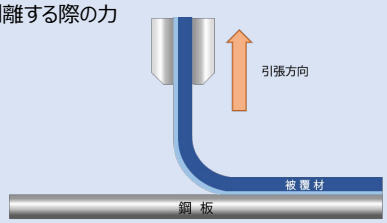
水道用ポリウレタン被覆方法 JWWA K151 , 152 JIS G 3477, 3443などに対応

日鉄テクノロジーでは、JIS規格，JWWA規格（日本水道協会規格）に準拠した塗覆装鋼管試験を行っています。
UO鋼管やSP鋼管に施された防食・保護用コーティング（塗覆装）の性能や耐久性を評価し、規格に適合しているかを試験します。
主に腐食防止性能、機械的強度、施工性などを総合的に確認します。



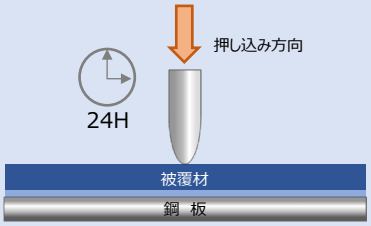
▶ ピール強度試験

塗装部に切り込みを設け、端部を一定速度で引張ることで、被覆が鋼管から剥離する際の力（ピール強度）を測定します。



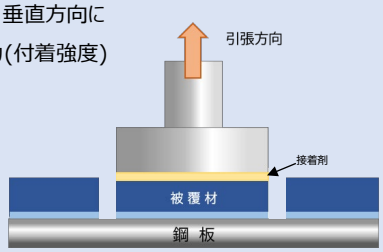
▶ 押し込み深さ試験

塗装表面に、一定の荷重を一定時間加えて押し込み、変形量（押込み深さ）を測定します。



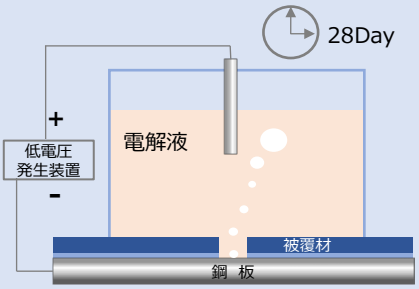
▶ プルオフ付着強度試験

塗装表面に専用治具を接着し、垂直方向に引張ることで、剥離する際の応力(付着強度)を測定します。



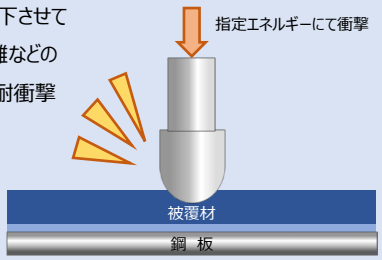
▶陰極剥離試験

被覆に人工欠陥を設け、欠陥に長時間電解液中で陰極電位を与え続けてた際の欠陥部からの剥離の広がりを測定し、被覆の耐陰極剥離性を評価します。



▶ 耐衝撃性試験

一定の重りを所定の高さから落下させて被覆に衝撃を与え、割れや剥離などの損傷の有無を確認することで、耐衝撃性を評価します。



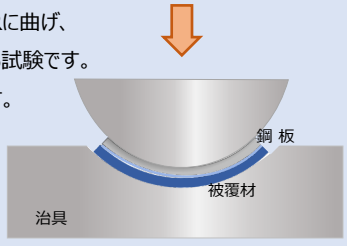
▶ 熱水浸漬試験

製品や材料を高温の水中に浸漬し、熱と水分による影響を評価する試験です。膨れ、剥離などの有無を確認し、過酷な使用環境における品質・耐久性の評価をします。



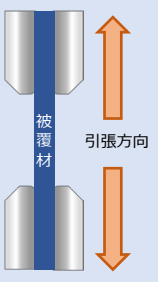
▶ 曲げ試験

塗装試験片を低温に保定し規定のRに曲げ、塗膜の割れや剥離の有無を確認する試験です。塗膜の柔軟性や密着性を評価します。



▶ 引張破壊呼びひずみ試験

プラスチックの引張特性を求める試験です。塗装に使用するシートのみを試験片加工し、引張荷重を加えひずみ量（呼びひずみ）を測定する試験で、塗膜がどの程度の変形に耐えられるかを評価し、加工性や耐久性の確認に用いられます。



©2026 NIPPON STEEL TECHNOLOGY Co., Ltd. All Rights Reserved. PKG-2606